

平成 23 年 11 月 2 日  
東 京 メ ト ロ

## 東京の地下鉄のサービス一体化に向けた取り組みについて

東京都交通局と東京メトロは、「東京の地下鉄の一元化等に関する協議会（第 4 回）」（平成 23 年 2 月 3 日開催）での合意に基づき、サービス一体化を段階的に進めることとし、これまで、協議・検討してまいりました。

このたび、今後のサービス一体化の取り組みについて、別紙のとおりとりまとめましたので、お知らせいたします。（別紙については、東京都と同時発表しております。）

東京メトロでは、利用者利便の向上等の観点から、引き続き、サービスの一体化について取り組んでまいります。

## 東京の地下鉄のサービスの一体化に向けた取り組みについて

### 1 乗換の改善

- (1) 九段下駅の乗換改善(ホーム及びコンコース階の一部壁撤去)について、平成 23 年中に着手し、平成 24 年度中の完成を目指します。
- (2) 乗換駅の追加指定(岩本町駅・秋葉原駅)及び改札通過サービス(春日駅・後樂園駅、市ヶ谷駅)について、既に所要のシステム変更等に着手しており、平成 24 年度中に実施します。
- (3) 本郷三丁目駅の連絡通路整備、六本木駅の改札通過サービスなどの乗換利便性の向上につきましては、工事の施工方法、お客様の案内の手法、安全確保など、解決すべき課題について、引き続き検討・協議し、条件の整ったものから順次、実施していきます。

### 2 運賃の乗換負担軽減策

運賃の乗換負担軽減策については、具体的な実施内容や、両者の経営に与える影響、他事業者を含めたICカードシステムに与える影響などを検討してきました。

一方、平成 23 年 3 月 11 日に発生した東日本大震災の影響により、東京都交通局・東京メトロとも運輸収入は大きく減少しており、経営への影響は避けられない状況にあります。

こうしたことから、今後の運輸収入実績も踏まえ、通算運賃制度や乗継割引の拡大等に関し、両者が具体的に検討を行い、取りまとめるものとなります。

### 3 その他



震災等発生時において、各種情報提供を始めとした帰宅困難者対策や、両者の乗換駅におけるお客様の避難誘導、運転再開にむけた連携強化など、東京都交通局と東京メトロが一体的に取り組むこととし、その具体的な内容については、関係機関とも連携を取りつつ、引き続き協議していきます。

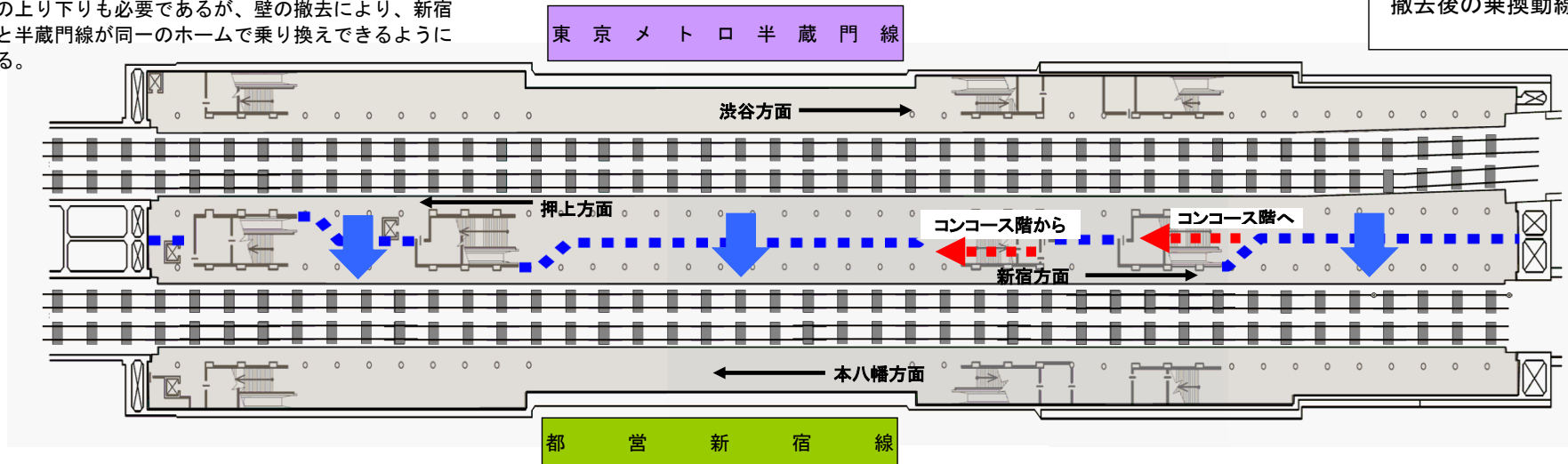
# 九段下駅の乗換改善(ホーム及びコンコース階の一部壁撤去)

資料1

## 1 ホーム階

都営新宿線とメトロ半蔵門線を乗り継ぐ際には、いったん改札を出て、改めて入場する必要があり、階段の上り下りも必要であるが、壁の撤去により、新宿線と半蔵門線が同一のホームで乗り換えできるようになる。

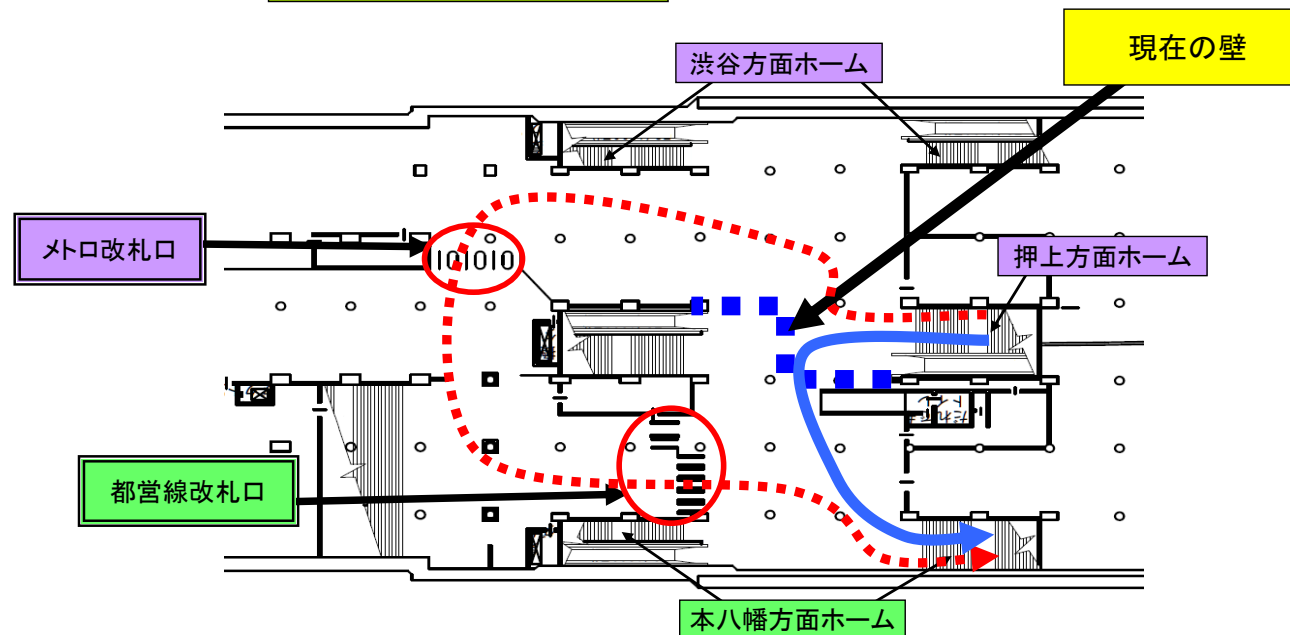
現在の乗換動線   
撤去後の乗換動線 



## 2 コンコース階

コンコース階の壁の撤去により、都営新宿線とメトロ半蔵門線の乗り換え利便性が向上する。

※神保町駅寄りの改札口の壁についても撤去する。



# 乗換駅の追加指定（岩本町駅・秋葉原駅）

<追加指定に伴う効果>

## 1 定期運賃 都営地下鉄、東京メトロそれぞれの運賃から15%を割引

経路例	九段下	岩本町・秋葉原	上野
	都営新宿線	メトロ日比谷線	
現行	通勤1ヶ月	13,050円	
	通学1ヶ月	6,530円	
↓			
指定後	通勤1ヶ月	11,100円	
	通学1ヶ月	5,560円	



岩本町駅から秋葉原駅方面

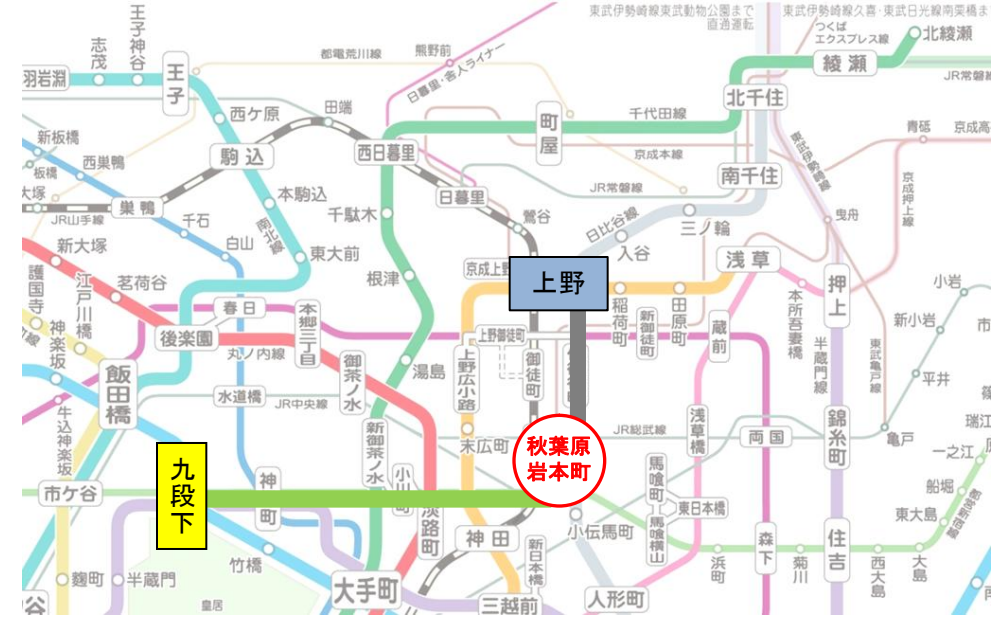


秋葉原駅から岩本町駅方面

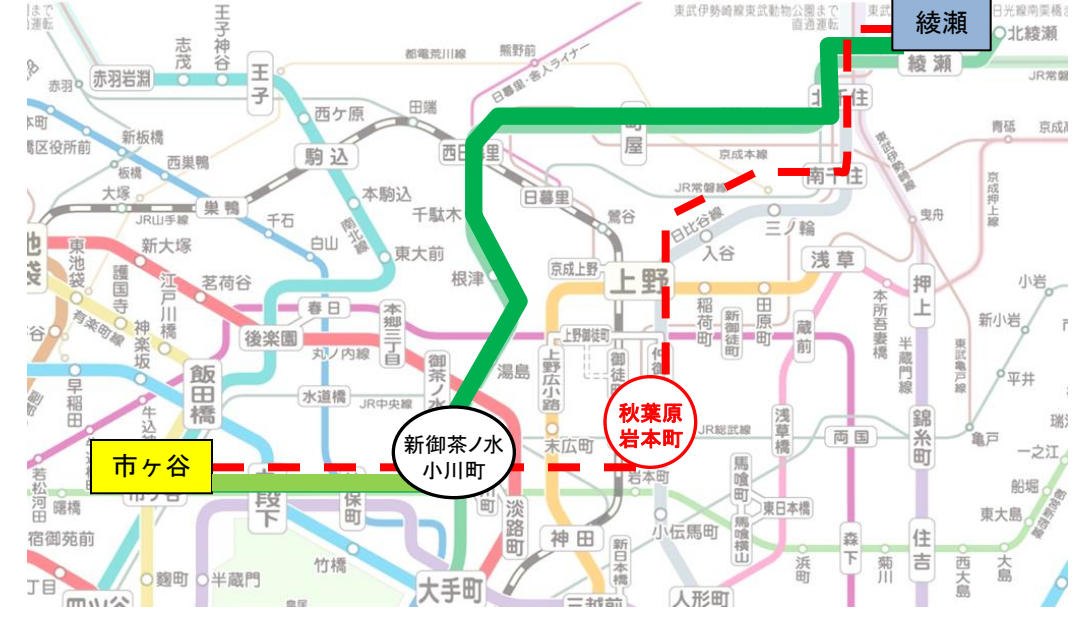


## 2 定期外運賃

### ①岩本町・秋葉原で乗り換える場合



### ②運賃計算経路の変更に伴い乗継割引運賃が安くなる場合 (都営地下鉄と東京メトロを乗り継いだ場合の運賃計算は、2駅間の最安運賃を適用)



経路例	九段下	岩本町・秋葉原	上野
	都営新宿線 170円	メトロ日比谷線 160円	
現行	330円	(170円+160円)	
↓			
指定後	260円	(170円+160円-70円)	

経路例	市ヶ谷	小川町・新御茶ノ水	綾瀬
	都営新宿線	メトロ千代田線	
現行	330円		
↓			
指定後	290円	(秋葉原・岩本町経由の経路(---)で運賃を計算)	

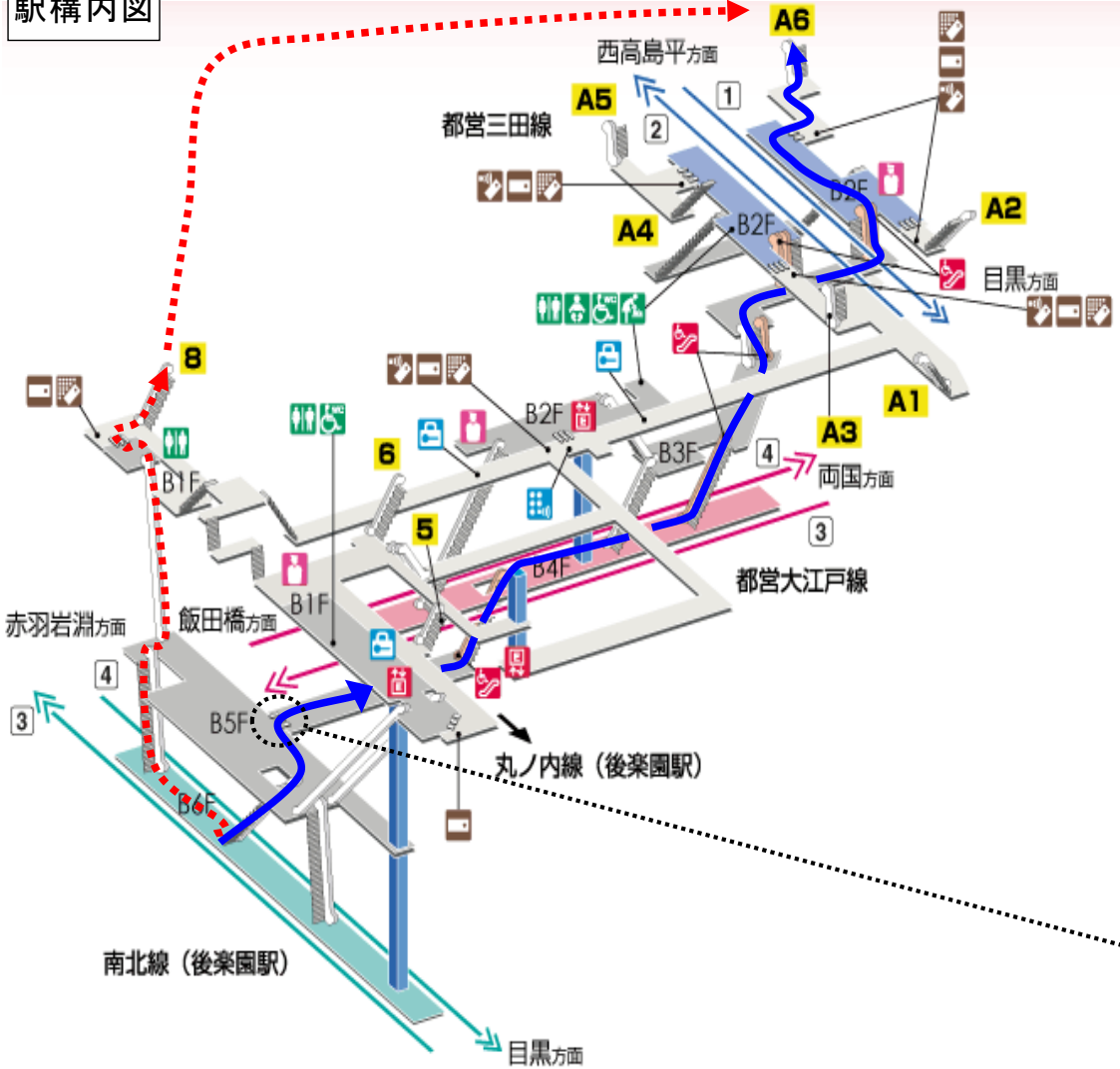


# 改札通過サービス(春日駅・後樂園駅)

一例として、メトロ丸ノ内線・南北線のお客様が都営大江戸線・三田線の駅構内を通過して、A6出口を利用できるようになる。

サービス開始前 ●●●●●●●●  
 サービス開始後 —————▶

駅構内図



平面図



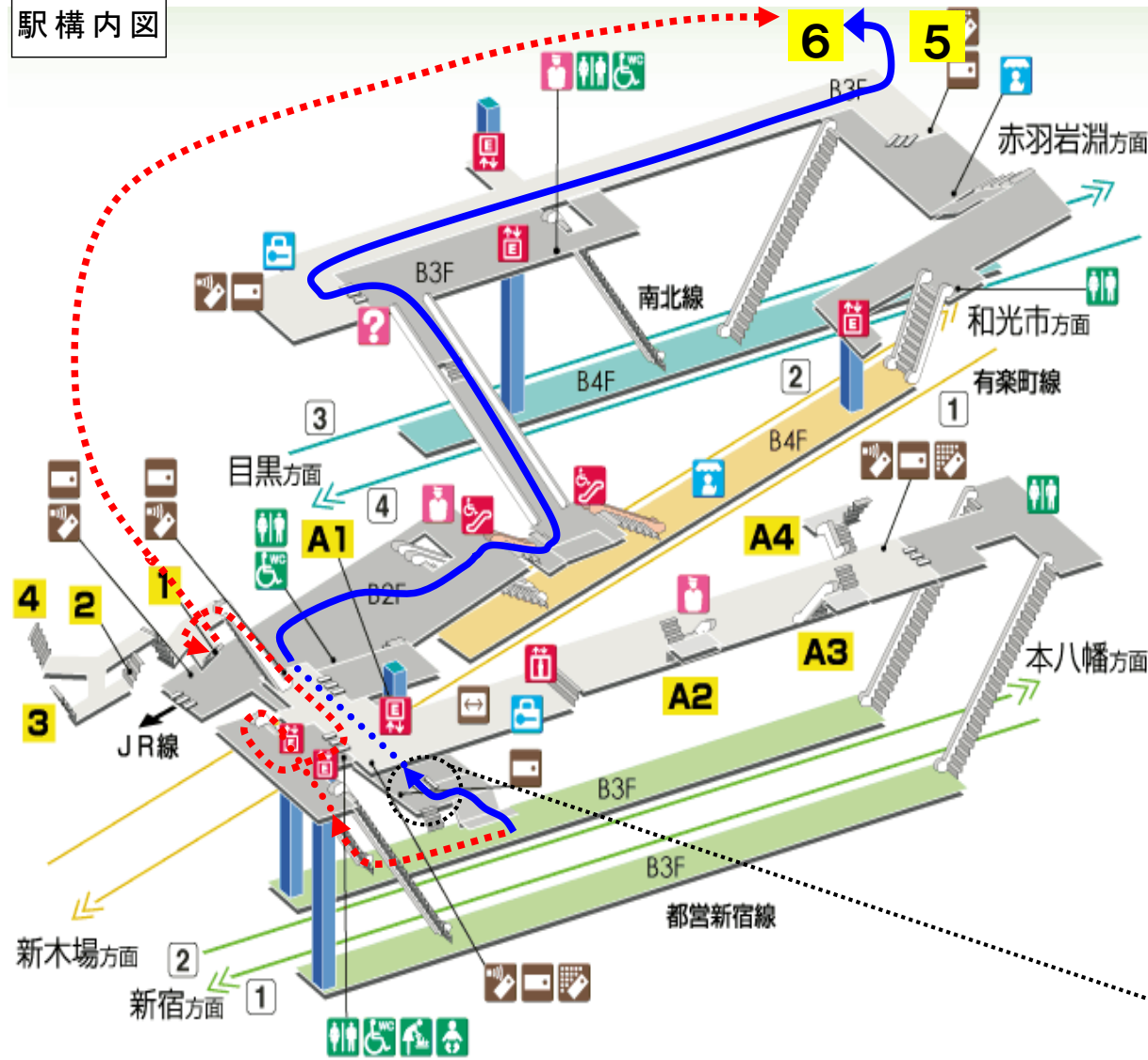
乗換専用改札



# 改札通過サービス(市ヶ谷駅)

一例として、新宿線のお客様がメトロ南北線の駅構内を通過して、6番出口を利用できるようになる。

駅構内図



平面図



サービス開始前 .....  
サービス開始後 ———

乗換専用改札



平成23年2月3日

## 東京の地下鉄の一元化等に関する協議について

国及び東京都は、これまで「東京の地下鉄の一元化等に関する協議会」を4回開催し、東京の地下鉄の一元化や東京メトロの早期完全民営化等の課題を関係者間において共有し、具体的な解決策やサービス向上策の実現に向けて、実務的な検討を行ってきた。

## (今後の取り組み)

- 一 経営の一元化については、財務状況、組織形態等様々な課題があることから、協議を続ける。
- 二 東京メトロの早期完全民営化の課題については、法律を踏まえ、協議を続ける。
- 三 利用者利便の向上等の観点から、サービスの一体化を段階的に進めることとし、乗換面・運賃面でのサービス向上策について、以下のとおり、速やかに実施する。

(1) 乗換の改善については、まずは、九段下駅ホームの壁の撤去に向け、平成23年中に着手する。その他の乗換改善方策(※)についても、両事業者において検討・協議する。

※本郷三丁目駅等の連絡通路整備、岩本町駅・秋葉原駅等の乗換駅の追加指定、六本木駅等の改札通過サービス 等

(2) 運賃の乗換負担軽減策については、昭和31年の都市交通審議会答申等を踏まえ、通算運賃制度や乗継割引の拡大等について、具体的に検討を行い、平成23年夏までに結論をとりまとめる。